

令和3年度 大分県森林環境税活用事業 当初予算一覧

新 : 新規事業
 新 : 一部新規事業
 終 : 終了事業
 青字: 他部局事業
 (千円)

I 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり	R3当初	R2当初	増減額	III 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	R3当初	R2当初	増減額
1. 災害に強い森林づくり				1. 里山林の保全活動の推進			
① 災害に強い森林づくり推進事業 河川沿いの人工林整備による広葉樹林化、獣害多発地域の再造林支援	26,235	30,364	△ 4,129	① 魅力ある景観づくり推進事業(都市・まちづくり推進課) 観光ルート沿線や視点を阻害する雑木を伐採し、景観の再生を図る	10,000	13,000	△ 3,000
新 ② 公共造林事業(環境林整備事業) 木材生産に適さない尾根・谷部の急傾斜地の広葉樹林化	1,920	0	1,920	2. 森林ボランティア活動の推進			
終 急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業(砂防課) 急傾斜崩壊危険区域内で、災害を招く恐れのある雑木等を伐採	0	13,200	△ 13,200	② 森林づくりボランティア活動促進事業 森林ボランティアや企業等による森林づくり活動を支援	13,296	20,501	△ 7,205
③ 地域の安心基盤づくりサポート事業(河川課) 河川内において、流水を阻害させる流木等の除却及び河道内樹木の伐採	10,000	10,000	0	3. 森林林業教育・森林ESDの推進			
④ 安全・安心な道路環境創出事業(道路保全課) 県管理道沿いで、豪雨時等に倒木の恐れのある木の伐採	20,000	30,000	△ 10,000	終 森林環境教育・木育促進事業 青少年の森林体験及び木育活動の推進	0	10,140	△ 10,140
2. シカ被害対策の推進				新 ③ 森林・林業教育促進事業 子ども達を対象とした森林林業教育プログラム作成、林業副読本の作成 森の先生を派遣による森林体験学習	17,197	0	17,197
新 ⑤ 鳥獣被害総合対策事業 シカ捕獲の推進、ハンターの養成研修、シカ生息個体数調査	62,000 (うち新規2,000千円)	74,448	△ 12,448	④ 森林環境学習促進事業(社会教育課) 森林をフィールドとした社会教育活動、森林環境学習指導者の養成研修の開催	4,963	9,758	△ 4,795
3. 森・川・海をつなぐ環境の整備				⑤ 未来の環境を守る人づくり事業(うつくし作戦推進課) 子ども探検団の自然体験活動の実施、環境活動発表会の開催	3,534	3,596	△ 62
⑥ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(循環社会推進課) 海岸に漂着した流木等を自治会やNPOが回収・除去	2,000	3,000	△ 1,000	⑥ 全国育樹祭開催準備事業 みどりの少年団の活動支援	4,766	5,900	△ 1,134
⑦ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(漁業管理課) 漁港、港湾等の流木を回収除去し、漁船や漁具への被害を防止	1,290	3,640	△ 2,350	新 ⑦ 農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業(高校教育課) 高等学校におけるICT林業の体験学習等を推進	1,477	0	1,477
⑧ 豊かな水環境保全推進事業(うつくし作戦推進課) 河川流域の水環境保全活動及び広報活動を支援	1,819	2,907	△ 1,088	4. 森林づくりへの理解を広げる取組			
小計	125,264	167,559	△ 42,295	終 県営都市公園里山利活用推進事業(公園・生活排水課) 大分スポーツ公園の里山や竹林を利活用し、自然体験や環境学習を実施	0	1,943	△ 1,943
II 森林資源の循環利用による地域活性化	R3当初	R2当初	増減額	⑧ みんなで支える森林づくり推進事業 育樹祭イベントの開催、森林づくり委員会の開催	5,524	9,841	△ 4,317
1. 健全な人工林資源の循環と低コスト化の推進				⑨ おおいたの森林づくり広報推進事業 森林環境税に関する広報活動	1,217	2,463	△ 1,246
① 再造林促進事業 林業経営適地での低コスト再造林を促進	107,085	113,100	△ 6,015	終 おおいたうつくし作戦推進事業(うつくし作戦推進課) 「おおいたうつくし作戦」の推進	0	2,553	△ 2,553
終 超疎植モデル林造成事業 再造林の低コスト化に向けた、超疎植造林モデルの実証試験林造成	0	3,182	△ 3,182	祖母・傾・大崩エコパーク推進事業(自然保護推進室) エコパークの案内ガイドマップや動画の作成	0	15,174	△ 15,174
② 優良竹林化・利活用推進事業 荒廃竹林の竹材、タケノコ生産林への再生	5,230	12,450	△ 7,220	⑩ 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク施設整備事業(自然保護推進室) 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークのトイレ整備等	503	1,890	△ 1,387
2. 森林資源の利活用推進				小計	62,477	96,759	△ 34,282
終 県産竹材利用促進事業(工業振興課) 創業支援によって竹材利用を促進	0	502	△ 502	合計(22事業)	301,241	395,552	△ 94,311
③ 竹産業等振興対策事業 たけのこ生産技術研修の実施及び普及啓発活動の支援	685	700	△ 15	他部局事業(11事業)	56,086	112,463	△ 56,377
④ 伝統工芸品産業振興事業(商業・サービス業振興課) 全国竹の大会の大分開催での、竹工芸の展示会開催など(R2コロナで延期)	500	500	0				
終 国際芸術文化振興事業(芸術文化スポーツ振興課) 県産材で制作した芸術作品の展示及び木材を使ったワークショップを開催	0	800	△ 800				
小計	113,500	131,234	△ 17,734				

【テーマ別予算割合】	R3	R2
I. 県民生活を守る安全・安心の森林づくり	42%	42%
II. 資源の循環利用による地域活性化	38%	33%
III. 森を守り親しみ、次世代につなぐ取組	21%	24%

ウッドショックについて

日本国内の木材製品は、世界的なコロナウイルスの感染拡大等の影響により、価格高騰と入手困難な状況

⇒ **ウッドショック** に陥っている。

【要因】

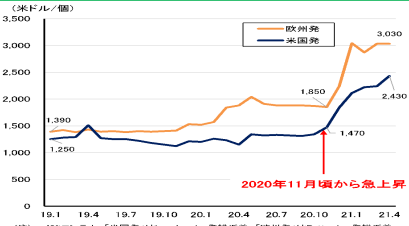
① 世界的な海上コンテナ不足と、それに伴う海上運賃の上昇

- ・R2.7月～中国は他国よりも早くコロナ感染を抑制・回復 → 工場稼働UP。
- ・米国のクリスマス需要等にむけ、特に中国から米国向けにコンテナを多く使用。
- ・**コロナからの回復が不十分な米国内では深刻なドライバー不足が発生しており、内陸に行ったコンテナが港へ戻ってこない状況。**

⇒ 令和2年11月頃より世界的なコンテナ不足、輸送費が高騰。

依然として高水準が続いている。

※以下【表①～③】は、令和3年6月 林野庁木材貿易対策室公表資料より抜粋



② 米国や中国等における旺盛な木材需要

○米国: 過去最低水準の住宅ローン金利もあり、郊外へ住宅を建てる需要が拡大。それまで120万戸/年 → R3.4月は150万戸/年に。

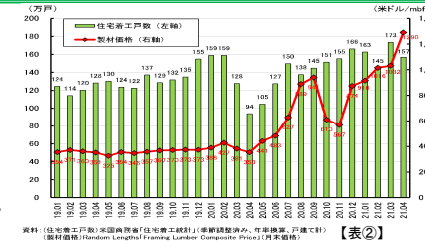
⇒ 製材価格が急上昇。

○中国: コロナからの回復により経済活動を再開。

⇒ 〔丸 太〕 豪州との関係悪化により他国(ニュージーランド等)からの輸入を強化。

〔製材品〕 住宅用に加え、マンション内装材や家具用材等の高品質材需要も旺盛。

米国や欧州から製材品等の輸入を強化。

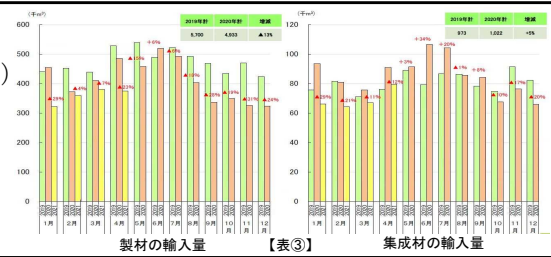


【ウッドショック】

- ・日本の住宅建築等に必要な外国産木材製品の輸入量が減少。価格は高騰。(主要輸入国: 米国、欧州等。外材シェア: 約60%)
- ・代替需要として国産木材製品への引き合いが増加。供給力不足により需給が逼迫。

⇒ **木材不足と価格高騰に見舞われている。**

この状況は、少なくとも12月末までは解消の見込みが立っていない。



ウッドショックについて

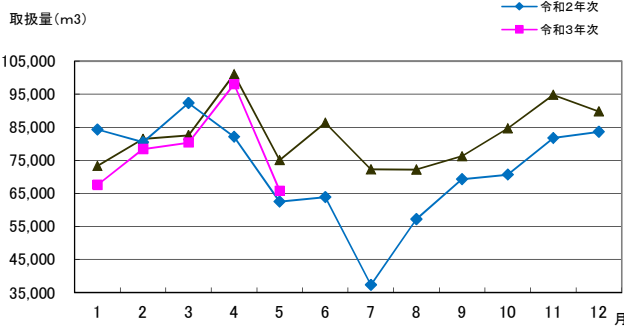
●大分県内の丸太取扱量・価格状況

例年では安値となる時期だが、旺盛な国産材需要により、スギ・ヒノキ丸太はともに高値で推移している。

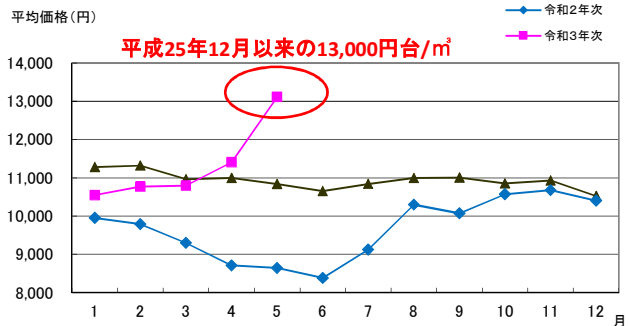
※林産振興室 調査

【スギ丸太】

県下16原木市場の現状(取扱量)

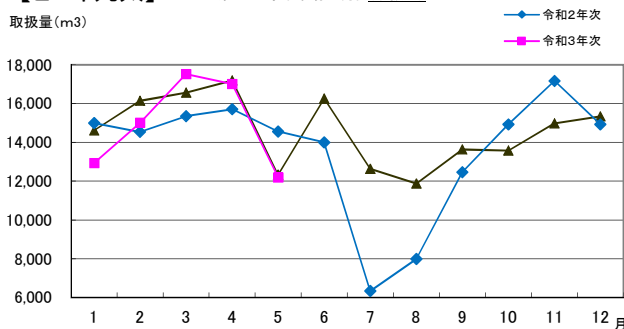


県下16原木市場の現状(平均価格)

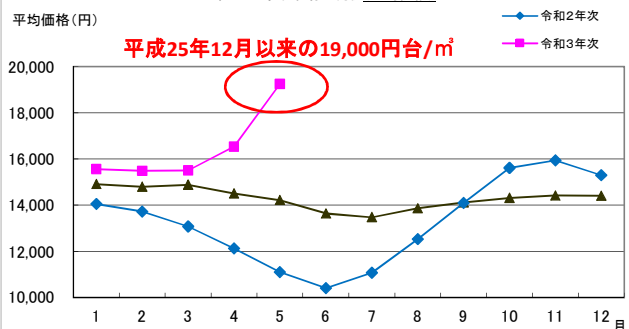


【ヒノキ丸太】

県下16原木市場の現状(取扱量)



県下16原木市場の現状(平均価格)



全国育樹祭とは

天皇陛下の行幸啓行事として、昭和25年から各地で開催されてきた全国植樹祭において、天皇・皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れする行事や式典を通じ、「親が植え、子が育てる」象徴を示すほか、育樹活動等の貢献者の表彰などを行い、「継続して森を守り育て、次の世代に引き継ぐことの大切さ」を伝える国民的な緑の祭典として、毎年秋期に開催されています。

大分県では、昭和33年に別府市志高、平成12年に豊後大野市大分県民の森において全国植樹祭が開催され、昭和52年に「第1回全国育樹祭」を開催してきました。この度、令和4年に第45回となる全国育樹祭を再び開催するにあたり、様々な準備を進めながら、県民の皆様がより森林に親しみ、森林への愛情を育む機会を多く提供していきます。



(上) 第6回全国植樹行事S33
(右) 第1回全国育樹祭 S52
(下) 第51回全国植樹祭H12



【平成30年開催 第42回全国育樹祭の様子（東京都）】



<お手入れ行事>



<式典行事>

全国育樹祭関連行事（併催行事・記念行事）

「国民参加の森林づくり」シンポジウム

記念行事 開催前年プレイベント

公益財団法人 森林文化協会の共催により、開催地の特徴や全国育樹祭開催方針などを踏まえ、森林づくりへの関心を高めるための基調講演や、パネルディスカッションなどを行います



平成29年東京都開催の様子

「育林交流会」

併催行事 式典前日開催（予定）

県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生など、森林林業・木材産業に高い関心を持つ人たちが参加し、直面する課題や先端技術等に関するテーマの講演や情報交換等を行います



東京都開催の様子

「緑の少年団活動全国発表大会」

併催行事 式典前日開催（予定）

全国から選出されたみどりの少年団や県内外のみどりの少年団等がつどい、日頃の活動状況の発表や相互交流を通じて、研鑽を積み機会を提供します



東京都開催の様子

「森林・林業・環境機械展」

記念行事 式典日・翌日開催（予定）

充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業・木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演します



東京都開催の様子

「おもてなしコーナー」

式典及び関連行事会場に設置

式典行事や各関連行事において、県内外より来訪される参加者の皆様に対し、歓迎するためのおもてなしとして、開催地の特徴を活かした物産等の展示販売等を行います



令和4年秋季 大分県にて第45回全国育樹祭が開催されます！

○大分大会の会場



お手入れ会場
県民の森全国植樹祭広場



式典会場
昭和電工武道スポーツセンター

○シンボルマーク・開催テーマ



○ポスター原画



○主な本年度の行事

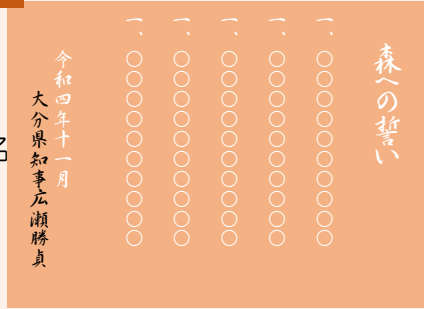
- ・豊かな国の
森林づくり大会 (11月)
 - ・国民参加の森林づくり
シンポジウム (12月)
 - ・大分県みどりの少年団
活動発表大会 (1月)
- など

木とつながるプロジェクト

県民各々が、木製の葉に森林への想いや感謝のメッセージを記入
(①学校・企業・団体での取組 ②各地域での取組 ③各種イベントでの取組)

森への誓いに反映

- 県民からのメッセージを反映した
「森への誓い」を策定
- 木製板に森への誓いをレーザー彫りし、知事・市町村長が署名
- 全国育樹祭の式典で森への誓いを宣言



式典会場の装飾

- 木製葉を付けた木を製作
- 式典会場（武道スポーツセンター）に県民の想いが詰まった
「大分県民の森」を設置し、皇族殿下・県外参加者をお出迎え



令和4年秋季 大分県にて第45回全国育樹祭が開催されます！

全国育樹祭とは、

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、毎年秋に全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れや式典行事を行う国民的な緑の祭典です。

・お手入れ行事



・式典行事



・併催行事

・育林交流集会



・全国緑の少年団活動発表大会



・森林・林業・環境機械展示実演会



平成30年開催 第42回全国育樹祭の様子（東京都）

(4) ③今後のスケジュール(案)

開催時期	内 容
第2回委員会 11月上旬	・令和4年度森林環境税新規事業について
第3回委員会 12月中旬	・令和4年度森林環境税予算の概要について ・現地視察

【8月実施予定】森林環境税の認知度調査について

- ・県民の森林環境税に対する意識を調査するため2年に1回実施
- ・県政モニター(115名)へのアンケート調査
- ・内容は森林環境税の認知度や事業に対する評価等